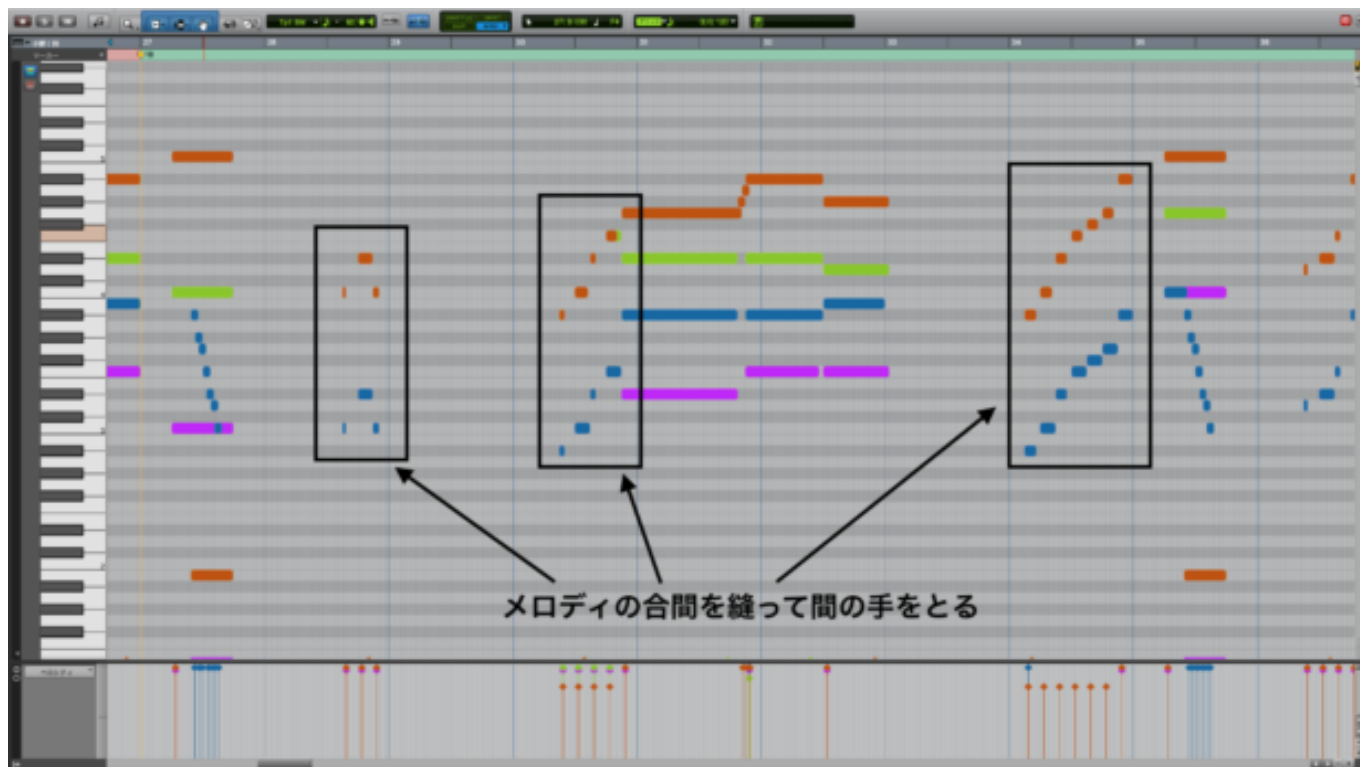


2-6 フォーム3:間の手型

間の手型の特徴

メインメロとの掛け合いを中心としたフレーズをホーンセクションで演奏するフォーム。ヴォーカルなどのメインメロディの隙間を狙って印象的な間の手を入れることで、パリッとメリハリの効いたアレンジに仕上げることができる。



メロディの合間を縫って間の手をとる

「Margin Call」 Horn Ver. Horn Section

赤枠部分はメインメロの間の手

Musical score for measures 27-34. The score is for four instruments: Tp.1, Tp.2, A. Sax, and Tb. Measures 27-34 are shown. Red boxes highlight specific melodic phrases in measures 28, 29, and 34. A rehearsal mark 'B' is present at the start of measure 27.

Musical score for measures 35-42. The score is for four instruments: Tp.1, Tp.2, A. Sax, and Tb. Measures 35-42 are shown. Red boxes highlight specific melodic phrases in measures 36 and 37. A rehearsal mark 'Inter' is present at the start of measure 41.

©OTO×NOMA ©TEMPEST STUDIO

間の手型アレンジのポイント

① メインメロディの切れ目を中心に演奏

- ✓ 原則としてメインメロディの切れ目を狙ってフレーズを挿入
- ✓ メインメロと交互に見せ場を作ることでメリハリの効いたアレンジに

② 間の手部分は印象的なフレーズを

- ✓ 8分音符を基調とした運動量の多いパッセージを中心に
- ✓ マルカート&スタカートを中心に歯切れの良いフレーズを心がけよう

③ メインメロと同時演奏する場合は控えめな動きで

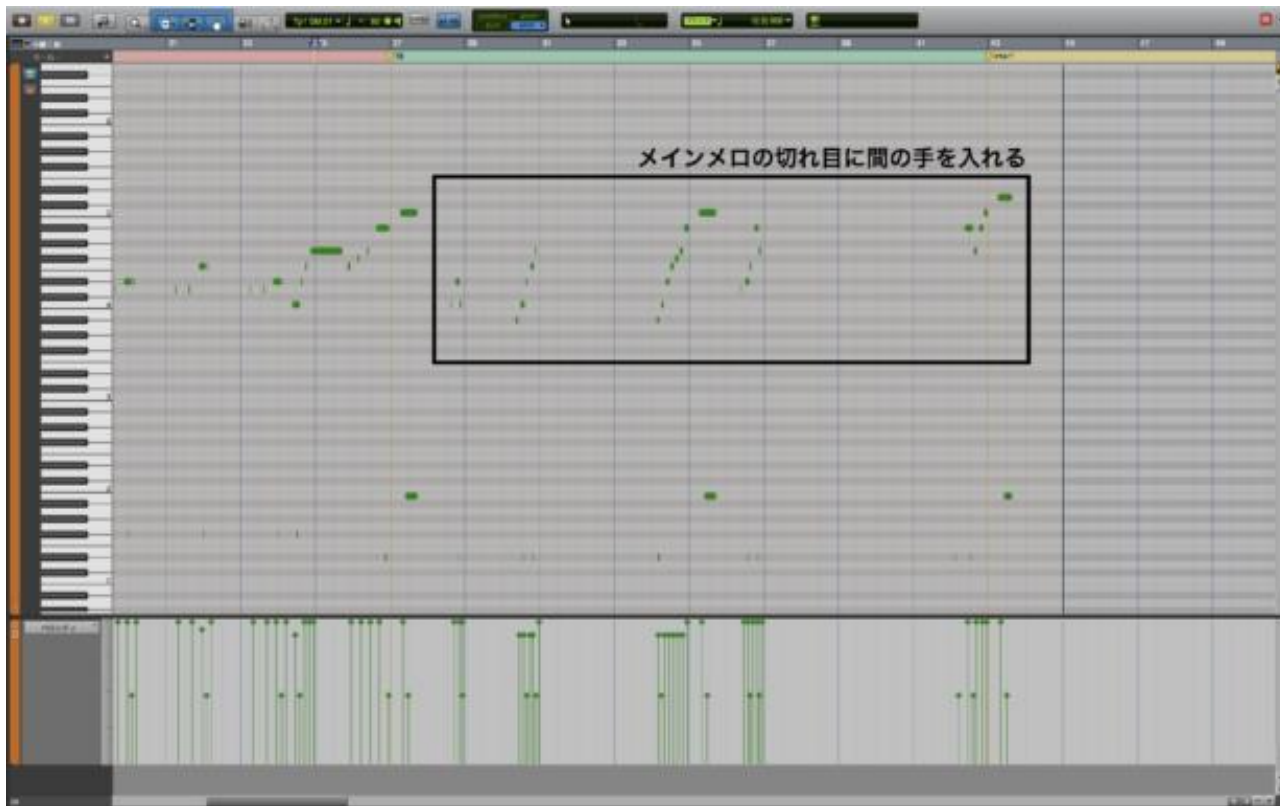
- ✓ 間の手だけで物足りない場合はメインメロディと同時に動いてもOK
- ✓ その際は白玉や四分音符を中心とした控えめなメロディを心がけよう

間の手型アレンジの手順

- ① メインメロの切れ目に1st Tpで間の手を入れる
- ② ①で作った間の手で物足りなければツナギを足す
- ③ 2nd Tp、Sax、Tbでボーシングする

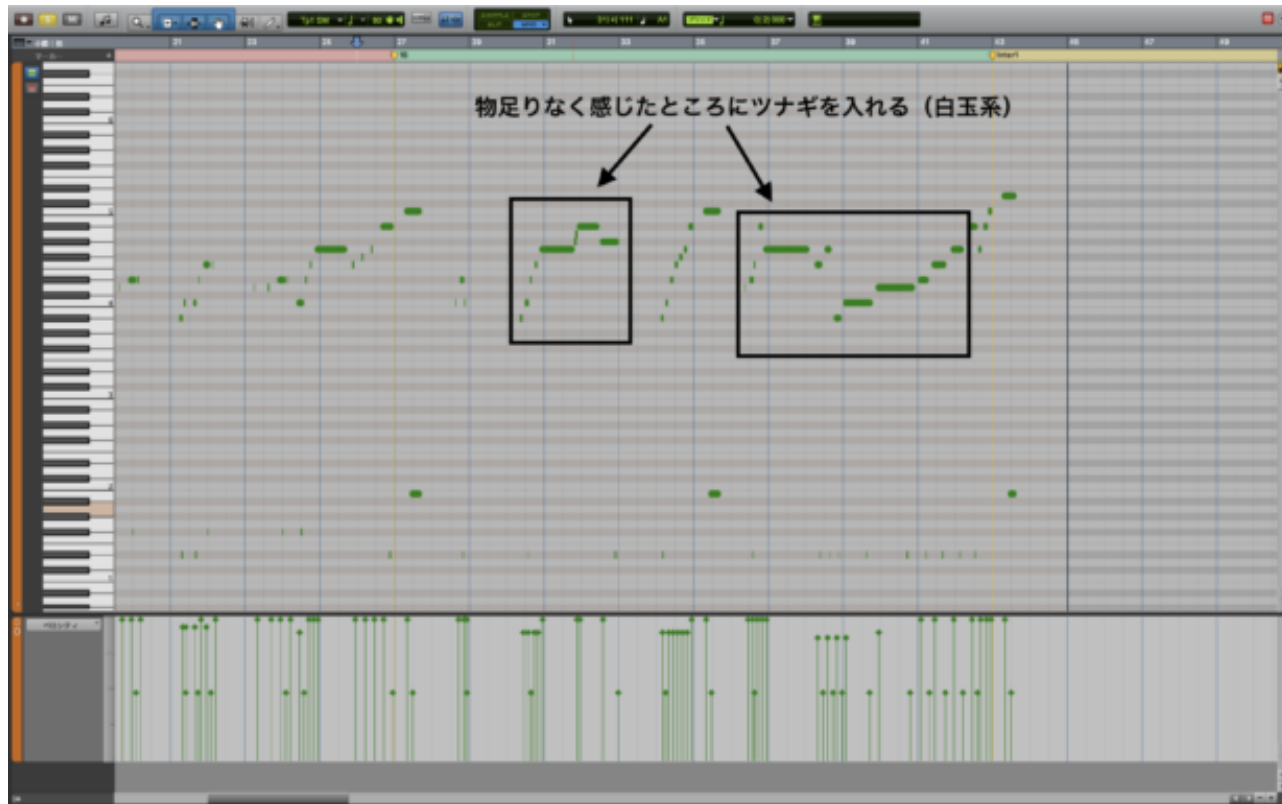
① メインメロの切れ目に1st Tpで間の手を入れる

まずはメインメロの切れ目に1st Tpで間の手を入れていく。メインメロディのフレーズの終わりなどを狙って派手目のメロディを散りばめていくとよい。



② ①で作った間の手で物足りなければツナギを足す

間の手だけでは物足りなく感じる場合、その合間にツナギとなるフレーズを足していく。極カメインメロディの邪魔にならないよう白玉や四分音符を中心に。



物足りなく感じたところにツナギを入れる（白玉系）

The image shows a screenshot of a music production software interface, likely Ableton Live. The main view is a piano roll with a keyboard on the left and a time axis at the top. The piano roll contains several green notes and stems. Two black boxes are drawn around specific sections of the piano roll, with arrows pointing to them from the text above. The text reads: "物足りなく感じたところにツナギを入れる（白玉系）". Below the piano roll, there is a MIDI piano roll view showing vertical stems for each note.

③ 2nd Tp、Sax、Tbでボイスングする

ユニゾンボイスングの場合はラインの輪郭が引き立ち、コードボイスングの場合は華やかさが増す。好みに合わせて使い分けよう。



全体的にボイスングする
(ユニゾンとコードを上手く使い分けて)